

シンポジウム

# 北方先住民族の交易と産物

8/17 土

13:30 ~ 16:00

函館市中央図書館  
1階視聴覚ホール

市立函館博物館の令和6年度企画展「北東アジアのシルクロードー北方交易と蝦夷錦ー」に関連し、北方先住民族間で行われていたサンタン交易と、蝦夷錦に代表されるその産物について、第一線で活躍する研究者が最新の研究成果を紹介します。



■ 基調講演

佐々木 史郎 氏 (国立アイヌ民族博物館 館長)

蝦夷錦を着た人たち

ー北方諸民族の間に残された絹織物ー



■ 研究報告

瀧本 壽史 氏 (弘前大学 特任教授)

本州における蝦夷錦認識とその特徴

ー道南との比較からー



■ 調査報告

相原 秀起 氏 (ノンフィクション作家)

間宮林蔵が見た蝦夷錦の道

ーアムール川と海峡部に残るものー

■ パネルディスカッション コーディネーター：田村 将人 (国立アイヌ民族博物館)

主催：市立函館博物館

国立アイヌ民族博物館

協力：中村 和之 氏 (函館大学)

お問合せ：市立函館博物館まで



市立函館博物館

HAKODATE CITY MUSEUM

040-0044 北海道函館市青柳町17-1

TEL 0138-23-5480 FAX 0138-23-0831

ホームページ <http://hakohaku.com/>

